ニュース専修
●「専修大学」ホームページ●
http://www.senshu-u.ac.jp/
毎月１回15日発行
（定価一部90円）
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819（直）

玉名で「知」の発信

環境との共生　防災・減災考える

社会知性フォーラム

文・熊木教授、卒業生らが講演

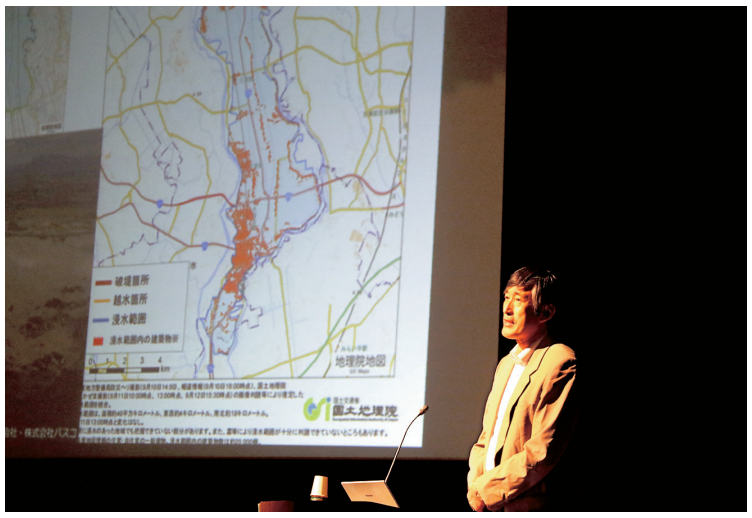
あいさつする佐々木学長

専修大学の研究力・教育力を地域社会に発信する「社会知性フォーラム」（主催・専修大学、専修大学玉名高等学校＝松野孝則校長）が10月1日、熊本県玉名市の玉名市民会館大ホールで開かれ、環境との共生や防災・減災をテーマに講演が行われた。

同フォーラムは2010年から開かれ7回目。熊本・大分を中心とした地震からの復興を応援しようと、今年高等学校創立50周年を迎える専大玉名高の地元で6年ぶりに開催された。

佐々木重人学長は市民、同高の生徒や関係者など約600人の参加者を前に「本学が基本理念に掲げる『社会知性の開発』は、大学で学んだ知識・技能を社会貢献のために生かそうというもの。このフォーラムが皆さんへの応援メッセージとなれば幸い」とあいさつ。髙嵜哲哉玉名市長はフォーラム開催に感謝の言葉を述べた。

講師は、無添加せっけんを製造するシャボン玉石けん株式会社（北九州市）代表取締役社長の森田隼人氏（平12経営）と、熊木洋太文学部教授（応用地理学・自然災害科学）。



玉名市のハザードマップを示し、解説する熊木教授＝写真上会場からの質問に答える森田氏＝同下

森田氏は、かつては同社でも主力商品だった合成洗剤と無添加せっけんの違いを説明。「合成界面活性剤が原料の合成洗剤は環境や人体に無害ではない。成分表示を見て商品の本質を判断してほしい」と語り、注意すべき成分を紹介。「環境にやさしい消火剤やウイルスを不活性化するハンドソープなど、今後も安心安全な商品を開発していく」と述べた。

熊木教授は、防災・減災につなげるハザードマップの活用について講演。「実際の被害はマップ通りになるとは限らない」として、「地形や地盤など土地の性質に関する基データを確認し、状況に応じて自分で避難を判断することが大事」と呼びかけた。

熊本市の北西部に隣接する玉名市では、今年4月14日に始まる一連の地震で震度6弱を2回観測。玉名市の防災安全課長で専大OBでもある徳永慎二氏（昭54文）が同市の被害状況や対応を報告した。

質疑応答では、「災害発生のリスクがある土地に住宅を建てられないように、行政の立場から規制できないのか」という質問があったほか、専大玉名高生が「より良いハザードマップにするための工夫は」（下田琴子さん・3年）、「大地震の経験を生かすために自分たちにできることは」（藤岡侑大さん・3年）と質問。「ぜひ無添加せっけんを使いたい」と価格を尋ねる生徒もいた。森田氏が生徒たちに「読書は人を成長させる。本を読んで経験の幅を広げ、語彙（ご）力や人に伝える力を磨いて」とエールを送る場面もあった。

司会を務めたのは同高3年の岩本夢さんと田中あかりさん。講演の合間には全国トップクラスの実力を誇る同高吹奏楽部が「威風堂々」など2曲を披露し、勇壮な響きで会場を包んだ。

副学長に金子洋之文学部教授

9月28日開催の理事会で、金子洋之（かねこ・ひろし）文学部教授＝写真＝が副学長として選任された。

「専修大学長を補佐する副学長に関する取扱い内規」に基づき、佐々木重人学長が推薦した。

任期は9月28日から2019年8月31日まで（ただし、学長の任期と同じ）。

金子教授は北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年本学講師、93年助教授、99年教授。2010～14年文学部長。専門は論理学、哲学。60歳。

創立者の一人・大蔵官僚

目賀田種太郎の足跡紹介

東京・たばこと塩の博物館

教育者、法律家、官僚として目賀田の数々の功績を示す史料が並んだ

専修大学の創立者の一人で、大蔵官僚としても活躍した目賀田種太郎（1853～1926）の足跡を紹介する「目賀田種太郎と近代日本　教育者・法律家・官僚として」が東京都墨田区のたばこと塩の博物館で開催されている。11月6日（日）まで。専修大学140周年記念事業の一環。

旗本の家に生まれた目賀田は神童といわれ漢学、英語、数学を学んだ。1870（明治3）年、初の国費留学生の一人としてアメリカに旅立ち、ハーバード大で法律学を修めた。2度目の渡米で、後に専修大学を一緒に創立する相馬永胤、田尻稲次郎、駒井重格と出会う。

1880（明治13）年、専修大学の前身・専修学校を創立。「法律学士」として講義を担当する一方、大蔵省に入省。税制改革や新しい税の創設にかかわり、たばこ・塩の専売制に尽力するなど、近代国家日本の礎を築いた。

本展示では、目賀田の留学時代の写真や、専修学校創立時の「私立学校開業上申」（重要文化財）、講義録、大蔵官僚としての業績を記すさまざまな史料を展示。目賀田の妻の父である勝海舟が専修学校卒業生に贈った書など、明治をつくった人々との交流を示す史料も多数ある。

9月16日のオープニングセレモニーでは、日髙義博理事長、佐々木重人学長らがあいさつ、テープカットした。目賀田家の現当主・匡夫さんは家族から見た種太郎の横顔を紹介。ひ孫の髙山みな子さんは「専修大学の創立者は国際的視点で日本をリードしていった人々。現在の専修大学の学生も大きなスケールで、世界を見据えてほしい」と語った。

目賀田の銅像を前にあいさつする日髙理事長＝9月16日

目賀田のひ孫・髙山みな子さん＝9月16日

同時開催の図書館コレクション展では、本学図書館が所蔵する和書の中から、日本文化の「雅」と「俗」をテーマに55点を展示。平安時代から読み継がれてきた『古今和歌集』『源氏物語』など「雅」の文芸、江戸時代に娯楽として人々に愛された「戯作」などの「俗」の文芸を並べた。監修の板坂則子文学部教授のゼミ生が、展示作品を含めた図書館所蔵の貴重書を分かりやすく解説するパンフレットを作製し、会場で配布した。

展示会に関連して10月23日（日）、11月5日（土）にはギャラリートークが、10月30日（日）にはシンポジウムが開催される。問い合わせは、たばこと塩の博物館☎03・3622・8801

主なニュース

司法試験9人合格／矢野元学長しのび「学問と教育を語る会」……❷
「創立137年鳳祭」11月3日から4日間開催……❺
【学生寄稿】大連で研修（商）、台湾合宿（文）……❻
合気道部ロシア訪問／アナウンサー講座10周年……❼
石巻専大・石原ゼミ発「サバだしラーメン」人気の秘密探る……❽
石巻専修大学　石鳳祭開催／女子競走部壮行会……❾

「センディ」
LINEスタンプ配信中

ホームカミングデー2016
11月5日（土）10時～　生田キャンパス
多くの卒業生の参加をお待ちしています！
※10面にイベント紹介